

米山奨学生お礼の言葉／カウンセラーの感想



グエン・ティ・ビック・チン

【出身国】ベトナム

【留学先】札幌国際大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】札幌RC

札幌国際大学心理学科子ども心理専攻のグエン・ティ・ビック・チンと申します。この度、ロータリー米山奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。奨学金をいただいたおかげで生活に余裕があり、学業に専念することができました。奨学金を頂けることから、親に経済負担を減らすことができることで、それは一つ自分の成長の結果でした。経済の他にロータリークラブと出会うことで立派な社会人の方と知り合いになり、自分の悩みに対するアドバイスなどをいつも教えて頂き、留学生の私はとても感謝の気持ちを持ちました。米山奨学生としてこの2年間で札幌ロータリークラブの会員の皆様をはじめ、カウンセラーの宮田さんは日本の保育実習や就職などの大変な時期にもいつもそばにいて「チンさんならできるよ」と応援してくれたりして、心から本当に感謝を申し上げます。18歳から一人で日本に留学していた私は言語や文化で大変なことがたくさんあったが、今までの出来事は自分の努力だけではなく、周りの人から信頼があるからこそ失敗と怖さがなく、前向きを持っていると思います。これから社会人になり、日本で数年間就職してからベトナムに帰国し、ベトナムの幼児教育に子どもに応じた保育の提供だけではなく、保育者として保護者にその子どもにとって必要な支援を提供したいと考えています。また、日本の良い幼児教育の文化を保護者に伝え広め、子どもの心の支援もできるように励みたいです。日本で得た知識と実践経験をいかして母国の教育力を高め、幼児教育を発展させることが私の将来計画です。米山奨学生を修了するとしてもこれからロータリーの活動に積極的に参加し、日本とベトナムの架け橋になれるように様々な活動を展開できるようになりたいと思っています。

カウンセラー / 宮田昌利

今回初めてのカウンセラーの役割をいただきましたが、グエン・ティ・ビック・チンさんとの出会いに心から感謝しております。チンさんは自国の幼児教育に貢献するために日本の大学で心理学を学びながら日本の国家資格を取りました。4年間の大学生時期を勉強の一方で、毎日居酒屋で4年間アルバイトなどを続けた、大変な努力家です。例会での卓話も、流暢な日本語とよく調べた資料によるベトナムと日本の幼児教育の比較と、将来に自分のやりたい事を発表して、メンバーにその思いが大変よく伝わりました。日本資格を取得しても何かと制約の多い日本のシステムの遅れなど申し訳なく感じましたが、就職も無事に決まり、これから社会での活躍がはじまります。多くのメンバーからも温かい支援をいただきました。チンさんには、これからも持ち前の前向きな心構えを持って、日本とベトナムの架け橋となっていっていただければと思います。



ナムプラチット スパーポン (カমন)

【出身国】タイ

【留学先】酪農学園大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】岩見沢東RC

私は2021年度の米山記念奨学生のナムプラチット・スパーポンと申します。出身国はタイです。現在酪農学園大学の獣医学専攻博士課程で学んでいます。2021年から米山記念奨学生として2年間お世話になりました。米山奨学生になって、勉強と研究に専念することができ、楽しく幸せな留学生活を送ることができました。留学生活では、獣医学を学ぶだけでなく、たくさんの素晴らしい人々と出会うことができ、日本文化および日本人の仕事に取り組む姿勢を学ぶことができています。また、毎日コミュニケーションをとることで、日本語能力が向上しています。さらに、毎月ロータリークラブの例会に参加し、世話クラブの方々と食事しながら色々な話をした時間は最高の思い出です。特にカウンセラーの西さんには2年間大変お世話になりました。私の悩みや進路について親身になって話を聞いてくださったこと、とても感謝しています。

現在のタイの獣医療は日本や他の先進国と比較すると多くの分野が発展途中であり、中でも高度な外科技術を持つ外科専門医や腫瘍の診断治療に精通する腫瘍科専門医は多くありません。卒業後はタイの大学の動物病院腫瘍科に勤務します。日本で得た腫瘍学に関する臨床及び研究の知識を生かして、母国に貢献したいと考えています。また、タイと日本の獣医学部の学生間交流を発展させるために、交換留学などのプログラムを立ち上げることに力を入れたいと思います。日本の新しい知見を常に取り入れるなどタイと日本の架け橋となる獣医師になるため、日本の獣医師免許とアジア獣医外科専門医資格の取得を目指します。

最後に、ロータリーの皆様には暖かく迎え入れ、支えてくださったことに心から感謝を申し上げます。北海道は私にとって第二の故郷です。

カウンセラー / 西任

タイの留学生、ナムプラチット・スパーポンさん(ニックネーム:カমনさん)を迎えてから2年が経ちます。あっという間に期間終了の時がきてしまったように思います。カমনさんは、タイで獣医師の免許を取得した後来日しました。酪農学園大学獣医学部博士課程で4年間学び、獣医師の国試に合格する事で日本の獣医師免許を取得することが目的です。単身で言葉も文化も違う国に来て学び生活することがどんなに大変な事は私にも想像が出来ます。しかし、来日したいという熱意が勝ったのでしょうか。この様な若い女性ですので、その細い体からは想像つかないバイタリティがあります。そしていつも笑顔。コロナ禍で活動が思う様にいかない、もどかしい気持ちがあった私たち会員の方が勇気づけられた様な気がします。

短く感じた2年間でしたが、振り返れば色々なことがありました。日本の文化に触れてもらう為、浴衣や着物を着せたり、会員のお寺に連れていったり、日本食を食べ歩いたり、雪の降らないタイから来たカমনさんにスキーを教えたりと会員もそれぞれ一生懸命、自分の子供や孫の様に接してきました。また、喜んでくれる姿に、もっともっと何かやろうと私も会員もどんどん熱が上がっていきました。苦労も多いと思いますが、それを見せずにいつも笑顔で元気な彼女の姿が人を惹きつける力になっているでしょう。

でも、別れの時が近づいてきました。カমনさんは、今年の秋にタイに帰り自国の大学の獣医学部で講師になる事になりました。獣医師として学ぶことの多い日本に、学生を留学させる手助けもするそうです。そして、講師を数年した後は再び来日し日本で獣医師として働きたいという希望を持っています。ただ、再来日する前に私たち会員の方がタイに行くという話になっています。自国で見た日本のアニメに興味を持ったことから始まったカমনさんの日本との関わりは、今、タイ国初となる日本とタイの両国獣医師免許保持者として、彼女しか出来ない大きな橋を日本と祖国に掛け様としています。カমনさんという素晴らしい人と出会うことが出来た事に大変感謝しています。カウンセラーは終わりますが今後の彼女をずっと見守っていきたいと思います。



周宇翔

【出身国】中国

【留学先】北海道文教大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】札幌はまなすRC

私は北海道文教大学グローバル研究科2年生、周宇翔と申します。私は米山奨学生になって以来、修士論文に専心することができ、授業でも沢山知識を得ました。その中でロータリークラブの例会にも積極的に参加し、ビジネス会話をなめらかにすることもできるようになりました。授業の余暇にも、より当地の小中学校のコミュニケーションイベントに参加して、私の言語力を大いに向上させ、各年齢層との交流経験を得ました。

大学期間はバスケット部に入って、部活に参加して周りの先輩に支えてもらいながら一緒に練習し、集団意志の精神を感じました。北海道の大学バスケットリーグ戦まで参加しバスケット場で活躍したり、積極的に部活に参加したりすることによって、唯一の外国人部員でありながら、他の部員たちの信頼を得て、愉快的雰囲気の中に溶け込みました。他にも大学期間は友人の外国語塾でバイトしながら、日本での職場経験を積んでいます。

私の大学院研究課題は飲食に関する慣用表現において用いられている言語表現そのものに焦点を当て、分析を行います。慣用句は会話や文章で使うと、表現の幅を広げることができます。慣用句の表現内容を理解できれば、コミュニケーションがスムーズになります。言語における慣用句対照研究では、これまで民族性や文化・歴史、あるいは地理的条件などに基づくものが多く見られるが、言語表現そのものを分析対象として扱った研究は、それほど多いとは言えないからです。

今年大学院を卒業する留学生にとって、就職活動は学生時代最後の戦いと言っても過言ではない。留学生を採用する企業は多いが、強い日本語力が要求され、言語力は採用結果を左右しています。留学生にとって、言語という壁が高く、自分の希望通りに就職することはさほど容易ではない。留学生が日本で就職する夢を実現するためには、日本語力な以外にもさまざまな技能を身に付け、なんらかの対策を考える必要があります。それは良いチャンスであるとともに、チャレンジ精神が必要です、そこは覚悟をすべきです。現在就職の内定を決めた後でも、自分のキャリアが始まります。内定をもらったとしても、異文化理解と語学力の強みを発揮できるかどうか、将来はどんな人間になりたいかなどの疑問を事前に考えておくべきだと思い、そうすると就職も将来のキャリアも、よりもっと順調に進めます。もしこれからお仕事でころんでも、それは失敗ではありません。なぜかという、失敗は成功のもとだと強く信じているからです。これからも頑張ります。

カウンセラー / 齊藤淳一

カウンセラー？突然の事でした。当クラブの理事会で次の米山奨学生のカウンセラーを私が任命されてロータリーにNOは無いと諸先輩方から教わった私は「はい。」と二つ返事でお受け致しました。

さて、カウンセラーとは何をするのか？？不安の中で奨学生との初顔合わせ、そこに奨学生の周宇翔さんと初めて会った時に爽やかな笑顔で挨拶された時、私の中にある不安は一気になくなり安心したのを今でもハッキリ覚えております。後は言葉と文化そして価値観さらに年代のギャップなど色々ありますが、さすが奨学生に選ばれただけあって非常に能力のある素晴らしい青年で話をしていく度にまるで自分の子供の様な感覚でした。彼は住まいと大学が恵庭市にあり、当クラブの例会場は札幌の北24条です。さすがに毎回例会に出席するのは無理かなあ～と置いていましたがところが例会には毎回出席して当クラブの会員より出席率が良いくらいです。

奨学生の周さんとの一番の思い出は周さんの誕生日にプレゼントしたら今度は私の誕生日を調べて靴をプレゼントして貰いました。足のサイズも教えてないのに履いてみてピッタリでビックリ!!どうやって私の足のサイズを調べたのか？

奨学生を修了して室蘭の企業に就職が決まってお互いの距離が遠くなりますが「お正月に家に遊びに行きますね」と言われ、「お正月と言わず困った事があればいつでも電話してね」距離は離れても心は離れる事が無いでしょう。カウンセラーをお受けして本当に大切な絆と掛替えのない経験と出会いを頂き感謝しております。



デムベレドルジ ボロルツェツェグ

【出身国】モンゴル

【留学先】北海道医療大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】札幌西RC

私は2021年度の米山奨学生のデムベレドルジ ボロルツェツェグです。私は、北海道医療大学の大学院歯学研究科・歯学専攻博士課程、小児歯科学分野に所属し、今月で無事に卒業しました。大学院1年生の時、これからどのような生活になるのか楽しみでした。すぐに研究テーマをいただき、研究生活ははじまりましたが、実は経済的には大変でした。その時、教授からロータリー奨学生を勧められ、2年生の時応募し、奨学生になりました。この2年間は私のこれまでの人生の中で、最も充実した素晴らしい2年間だと思います。組織として活発な札幌西ロータリークラブに所属し、活動することになりました。

札幌西ロータリークラブは人が皆温かく、信頼できる関係を築くことができました。様々な分野の人たちが所属しており、私の視野もとても広がりました。この会を通して、米山奨学生としての使命と役割を理解し、将来の方向性も明確になりました。私の好物のジンギスカン料理を食べたり、カラオケで日本のPOPソングを歌ったり、メンバーの家に招待されたりしてとても楽しかったです。春は北海道神宮に花見に行ったり、秋には京都の紅葉見に連れて行っていただきました。京都では舞妓さんの体験をして、日本文化に直接触れることができ、私の一生の思い出となりました。インプラントのデンタルクリニックも見学させていただきました。この2年間は、このようにとても充実した日々で、ロータリアンの皆様のご親切に心から感謝を申し上げます。これらの宝物のような経験は今後の私の糧になると思います。ロータリーの活動を通して感じたことは、米山奨学生になって以来、たくさんのロータリアンと交流ができて、日本文化と社会知識を深く知ることができ、とても有意義な期間だったと思います。

母国モンゴルと北海道での留学経験のことについて多くのロータリアンに紹介することができ、とても嬉しかったです。最後の例会では、私のクラブ終了式での素晴らしい映像を見て、とても感動いたしました。今まで皆様が私のためにしてくださったいろいろな記念行事に心から感謝します。ロータリアンの皆様の優しさに溢れて涙が溢れ出てしばらく止めることができませんでした。本当にありがとうございました。

私は皆様の優しい心と笑顔を一生忘れずに、感動の気持ちを持って、生きていくつもりです。このような経験をさせていただき、本当に幸せです。ありがとうございました。

カウンセラー / 川村忠

最初は控えめでおとなしい印象を受けましたが、実際は、何事にも積極的で前向きに取り組む姿勢には感銘を受けました。SNSでもいろいろ発信し、楽しい日本生活を送っています。自宅のカラオケパーティーでのプロ顔負けのパフォーマンスは楽しい思い出です。

ボロルさんは、モンゴルと日本の大切な架け橋になってくれるだけではなく、日本の良さや楽しさを世界に発信できる貴重な人材です。

そして、我々札幌西ロータリークラブにとって大切な友人になってくれました。

これからの活躍を心から期待しています。

寄稿：中村真規



那日蘇

【出身国】中国

【留学先】北海道大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】札幌幌南RC

中国内モンゴル出身の那日蘇です。私は米山奨学生として、この機会を与えていただき、大変感謝しております。米山奨学金は私にとって、日本での研究を行うために必要な財政的支援だけでなく、国際社会に貢献するためのスキルや知識を身につける機会を与えてくれるものです。

私は奨学金期間中、お陰様で学業と就職活動が両立することができました。北海道大学ではリグノセルロース系バイオマスのエネルギー化に関する研究に取り込んでおりましたが、これからは民間企業でそういった資源を用いてCO2削減に貢献する環境に優しい製品の開発に携わる予定です。キャリアプランに関しては、まず研究開発職に就き、経験を積み上げたいです。将来的には、専門知識と語学力を結びつけて、技術営業になり、日中両国そして世界との架け橋になるよう、努力して参ります。

また、この期間中はカウンセラーの志田先生をはじめ、多くの人々と出会い、大変お世話になりました。これらの出会いは、私にとって非常に貴重なものであり、今後の人生においても大きな影響を与えるものと確信しています。

私は、この名誉ある奨学生になれたことを光栄に思い、謙虚な気持ちで、ロータリーの価値観を守り、世界に良い影響を与えることができるよう、最大限の努力をしたいと思います。

4月からは奨学生の身分を失いますが、これからは学友、社会人といった新しい身分でロータリーとの関係を更に深めていきたいと思えます。

最後に、改めて米山奨学会の皆様のご支援とご鞭撻に深く感謝申し上げます。

カウンセラー / 志田勇人

3月27日に行われた米山セミナーで初めて那日蘇さんにお会いした時の印象は、米山奨学生は皆さんそうなのかもしれませんが、真面目で誠実な学生さんだという点でした。忙しい研究の間にも必ず例会の行事には参加されますし、私以外の会員の方とも積極的に交流を持つようとする姿勢を感じました。また2月に日本人の方と国際結婚され、奥様も一緒にご自宅にお招きして食事した際は、私も私の家族もまだ見ぬ中国の事などを聞いて大いに刺激されたと同時にとても楽しい時間を過ごすことができました。その後もこの半年の間に那さんがバイト先で働いていたモンゴル料理店に招待していただき本場のモンゴル料理を堪能しました。夏には札幌幌南ロータリークラブの名物行事であります豊平川の花火大会の参加など交流を深めることが出来ました。今年は大学院生最後の年で来年の就職に向けて就職活動と卒業のレポート作成を並行して行わなければならないとのことと那さん自身、かなりのハードスケジュールのようでしたが、無事に本州の会社に就職が決まり、その就職祝いの2次会では那さんの好きな日本の歌をカラオケで歌っていただき楽しい思い出ができました。このようにコロナ禍ではありましたが色々交流できたと思えます。

今後は彼の専門的な知識と語学力を生かしてきっと日中両国の架け橋になってくれることと思えます。奨学生は卒業ですが、那さんの奥様が札幌の方なので帰札された際などまた食事にでもいきたいと思っております。



伊拉嘎其

【出身国】中国

【留学先】室蘭工業大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】室蘭RC

私はこの3月の卒業を迎えた今、室蘭工業大学へ研究生として入学した時から、博士前期課程を経て、博士後期課程までの6年間を振り返ってみると、思い出の一つ一つがつい最近のこのように思い出されます。入学した時は留学生活に悩みがたくさんありましたが、出会った先輩や友達、及び事務職員の方々の熱心なご支援のおかげで、留学生活にすぐに慣れることができましたと思います。最初の数年間は、アルバイトにて生活費を稼ぐとともに色々な日本人の方々と知合いになり、多くの日本人の友達ができました。その時、私は友達や先輩たちと一緒に遊んでいたが、この数年は新型コロナウイルスの全世界的な流行により、私たちの生活様式は一変し、友達に会うことでさえ厳しくなっていました。今まで一緒に見学旅行や地元のお祭りに参加していたことがどれほど幸せなことか実感しました。ここで、新型コロナウイルスの感染対応に尽力されている医療従事者等の皆様には心より御礼申し上げますとともに、1日も早くコロナ禍が終わることを切に願っております。

このコロナ禍の中、米山記念奨学生として受け入れていただいた私はアルバイトやコミュニケーションの時間をほとんど研究時間にすることで勉学に専念することができたため、規定時間内にこの博士後期課程を卒業する今を迎えたと思います。米山記念奨学生はただの奨学金を受けることではなく、ロータリアンの皆様に分身の人間性、未来の社会における貢献価値及び両国の架橋の一部になれることが認められたということです。ここで、いつも暖かく見守ってくださったすべての方々に感謝を申し上げるとともに、ロータリークラブのさらなる発展と活躍を願っております。もちろんですが、私はロータリークラブからいただいたこの認めを誇りと思いつつ、今後の道では社会に活躍していきたいと思っています。

カウンセラー / 北川浩一

2021年4月から2023年3月までの2年間、米山奨学生の中国内モンゴル自治区出身のイラガチさんのカウンセラーをいたしました。

この2年間、カウンセラーとして奨学生のケアを行うという場面は無かったように思います。大学生と言ってもイラガチさんは大変自立した、成熟した人格の持ち主で、自分の置かれた環境の中でどのように行動すべきかを十分理解していました。また大学内に同じ中国の仲間も多く、孤独感や孤立感などの心配をすることもありませんでした。

奨学生に選ばれる前のアルバイトの苦労話を聞きました。コンビニか登別温泉のホテルでのアルバイトで、バスでの通勤に時間がかかり実働時間の他に多くの拘束時間が必要であった事を話していました。奨学生レポートにもありましたが、米山奨学生になった事で非常に多くの時間を本来の研究に向ける事が出来、その結果次のステップに進むことが出来るようになった事がこの制度の最大の効果であると感じました。



アリシャ ヌルシャフィカ ビンティ アマト ダラン

【出身国】マレーシア

【留学先】室蘭工業大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】室蘭北RC

私は室蘭工業大学からのアリシャ ヌルシャフィカ ビンティ アマト ダランです。ロータリー米山奨学生として2年間室蘭北ロータリークラブの皆さんにお世話になっておりました。特にカウンセラーの川本先生にはいろいろ大変お世話になりました。いつも私に優しく、いろいろなことを応援してくれました。米山奨学生になった通りに、私は奨学金をもらうことだけでなく、大学で工学を勉強する以外に色々なことを経験できました。様々なロータリークラブのメンバーと交流できて、大切なアドバイスを教えていただきました。そして、果物狩りや食事会を一緒にやってきました。また、私はローターアクトクラブにも参加しました。ローターアクトクラブでは私が日本についてもっと学べ、日本でボランティア活動もやりました。その時、知識やコミュニケーション能力をよくして、新しい友達もできました。本当に楽しかったです。

ですから、米山奨学生になったことが本当にありがたいです。2年間でお世話になった思い出は忘れずに、いつも大事にしたいと思います。その際に、大切な経験が多くもらいました。それから、カウンセラーの川本先生、室蘭北ロータリークラブの皆さま、およびローターアクトクラブメンバーに対して、もう一度大変ありがとうございましたという言葉伝えたいです。卒業後に、横浜市で就職する予定です。そのため、室蘭で経験した多くの事を横浜の会社に働く時も活かして行きたいと思います。最後にマレーシアと日本の架け橋になれるような人間になれるよう頑張りたいと思います。

カウンセラー / 川本康裕

この度2022~2023年度カウンセラーをこの3月で終える事になりました。担当はマレーシア国籍のアリシャ ヌルシャフィカ ビンティ アマトダランさんです。室蘭工業大学博士課程2年間の継続米山奨学生でした。専攻は情報電子工学系専攻の所謂理系女子です。私自身カウンセラーと言う立場は初めてなのでどういう事をする役目なのか大変不安でした。また宗教的にラマダンや食事の内容等に付いても本人に聞きながら私自身も勉強になりました。2021年4月に初めてのカウンセラーのオリエンテーションが開催されそこで初めてアリシャさんと顔合わせをしました。私は個人的には留学生との交流をしたことは有りますがロータリーを通してオフィシャルな交流は初めてで緊張しましたが出来るだけ私の方から会話をする様に心掛けました。ただコロナ禍の中、多くの活動が制限されカウンセラーとして彼女の役に立ったか疑問ですが、他クラブに卓話を頼まれたりして米山奨学生として活動しました。また彼女をローターアクトクラブに入会してもらいアクトのメンバーとの交流も行なっていました。

長いようで終わってみればあっという間の2年間でした。4月からは横浜の企業に就職が決まっております。向こうに行っても米山奨学生として過ごした2年間の経験を活かして元気で頑張りたいと思います。私も機会があれば必ず横浜の方へ伺いたいと思います。

アリシャありがとう。



孔莉君

【出身国】中国

【留学先】小樽商科大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】小樽南RC

皆様、こんにちは。小樽南ロータリークラブにお世話になっている孔莉君と申します。現在は小樽商科大学現代商学専攻の大学院2年生です。今年は日本に住んで3年目なので、日本の生活はもう慣れました。私の地元はめったに雪が降らないので、小樽に引っ越してきたときは大きな喜びと期待でいっぱいでした。最初は、小樽に引っ越しても友達がいないので、居心地が悪く、少し寂しいかもしれませんが、学校の国際交流会館に移ると、世界各国の友達ことができました。そして、いろいろな国の習慣や文化に触れ、イベントに参加して、たくさんのことを学ぶことができました。

私の研究内容は職場におけるインクルーシブ・リーダーシップと従業員の心理的安全性及びその効果に関する研究です。「最高のチームを作る要因が何か」を突き止めるためのGoogleが2012年から約4年をかけて社内で行った実験「アリストテレスプロジェクト」でチームの生産性やパフォーマンス向上に必要な要因として「心理的安全性である」という結果が公表されました。今まで「阿吽の呼吸」や「空気を読む」ことを大切にしてきた日本人に対して、心理的安全性を作るのが難しいと考えるので、このテーマを選びました。

あっという間に、米山奨学生として、今年があと一か月ですね。間違いなく、この1年間は私のこれまでの留學生活の中に、最も充実した1年間だと思います。私は米山奨学生になってから、たくさんのロータリアンと交流ができて、日本文化と社会知識を勉強になって、とても有意義な奨学会だと思います。1か月1回例会に参加させて頂くことによって、皆さんの奉仕精神を凄く感じました。皆さんとお話を聞きまして、ロータリー精神にも徐々に理解できました。そこで、自分は日本と中国の懸け橋になるだけではなく、将来的に社会に貢献し、世界平和のために寄与できる人間になることが期待されていることを考えております。

また、ロータリー米山奨学金のおかげで安心して活動に励むことができました。修士論文を合格して、仕事も決めました。4月から札幌の西山製麺株式会社で働く予定です。私は北海道の美味しいラーメンを日本全国だけではなく、海外のお客様にも届けるようにがんばります。

最後に、米山奨学生になって凄く幸運だと思っています。優しいロータリアンと出会い、たくさんのお話ができて、仲良くなったような感じがして非常にうれしいです。この縁が繋がりになって奨学生終了後でも、ずっと続けていきたいと考えております。

カウンセラー / 地山敬胤

小樽南RCでは、米山奨学生世話クラブとして昨年4月より小樽商科大学に通う中国出身の孔莉君さんを一年間サポートして参りました。

孔さんは大学寮で様々な国籍の学生と生活し勉学に励む一方、コロナ禍で不安やストレスも重なり困難も多かったと思います。しかし、それらをうまく対処し仲間たちと苦楽を共にすることで、より自信に繋がったのではないかと感じています。

クラブ例会においても、積極的に参加しいつも笑顔で接する姿が印象的でした。周囲にも溶け込み、大変多くの事を学ばれたことでしょう。

就職活動では、希望の企業から内定をいただきクラブ一同安心しています。今春より社会人となり、志でもあった日中友好の架け橋となれるよう国際関係に貢献してもらえることを願っています。そして米山記念奨学会と小樽南RC一同とのご縁を大切に、今後も色々な人に出会い、新しい価値観に触れ、謙虚な心で一歩ずつ歩んでもらいたいと思います。



ニュー チョウソ バオ チャン

【出身国】ベトナム

【留学先】北洋大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】苫小牧東RC

2年生の時、大学の先生がロータリー米山記念奨学会の奨学生を募集していることを留学生の皆に伝えました。そのことを聞き私は応募を決めました。応募をするのにレポートを手書きで何回も書き直し、面接も何回も練習してもらいました。頑張った結果、ロータリー米山記念奨学会に奨学生として選ばれとても嬉しかったです。

苫小牧東ロータリークラブに配属され、もうすぐ2年経ちますが、苫小牧東ロータリークラブの皆様には経済的な支援だけでなく、日常生活や就職活動に困った時、親身になって相談にのっていただき適切なアドバイスをいただいて、とても感謝しております。

今、ロータリー米山記念奨学会に奨学生として選ばれて、初めて札幌で第2510地区ロータリー米山記念奨学会の例会に出席した時の事を思い出してみると、嬉しい気持ちと共に緊張と不安が多かったです。元々人見知りの性格で、ちゃんと周りの奨学生やカウンセラーさん、苫小牧東ロータリークラブの皆様と交流できるか心配していました。しかし、苫小牧東ロータリークラブの皆様が優しく話しかけてくださり、どんどん慣れてきて心配していた、人と話すのが苦手なところもいつの間にか消えていました。

奨学生期間の2年間は長いようで、短かったと感じております。この2年間でカウンセラーの青山さんに沢山お世話になりました。学校のこと、生活のこと、就職活動で困ったり悩んだりした時に、いつも青山さんに相談し適切なアドバイスをいただき、青山さん、クラブの皆様にも色々お世話になって、心から感謝しております。これからロータリー米山記念奨学会の皆様とお別れで、寂しい気持ちがたくさんありますけれど奨学生として選ばれた時から今まで、そしてこれからの社会でいつも皆様と出会ったことを心から感謝し、ロータリー米山記念奨学会に選ばれ成長してきた人間だと誇りをもって行動していきたいと思えます。

カウンセラー / 青山晴美

2年前の米山奨学会のオリエンテーションで奨学生のバオチャンさんに初めてお会いし、日本語がとっても上手でホッとしました。1年間のカウンセラーとお引き受けしたところ、2年間という事でびっくりした事を思い出しております。奨学生のバオチャンさんはとっても爽やかで素敵な女性です。

コロナ禍のためなかなか深いお付き合いが出来ませんでしたが、2年間で少しずつ絆を深めあいました。エピソードも沢山ありますが、少し紹介しますと、クリスマス例会、会員・家族・留学生新年会、奨学生もベトナムの民族衣装を着て参加してくれました。寒い、寒いと言っておりました。(笑) 令和4年3月3日の例会は、日本独自のひな祭りなのでケーキ、桜餅、うぐいす餅を用意しお祝いをしました。その日はバオチャンさんの誕生日でもありましたので感激してもらいました。そのあとケーキと一緒に食べたお友達がコロナに感染していてバオチャンさんもコロナになったというオチのつく誕生日でした。

(笑) どちらかと言うと無口な奨学生ですが、就活の事、住居の事、ボーイフレンドの事、いろいろ、お話してくれて、娘のように思っております。またカウンセラーとしてわからない事はすぐに入井さんに連絡しいろいろアドバイスいただき勉強になりました。ありがとうございました。本当にカウンセラーをさせていただき良かったと思えました。



朱 妍卉

【出身国】中国

【留学先】北海道大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】函館五稜郭RC

奨学金のご支援をいただきまして、誠に感謝しております。

博士課程の3年間、米山奨学金の名に恥じぬよう、及ばずながら学業に学校生活にと全力を尽くしてまいりました。振り返ってみると、至らない部分もありましたが、自分なりに有意義な実り多い学生生活を過ごすことの出来た3年間でした。米山奨学金のご支援のおかげで、学業に専念でき、投稿論文7本（筆頭著者4本、共著3本）、学会発表3回（国際学会1回、国内学会2回）を行いました。奨学金のご支援を頂くまででは、アルバイトしながら大学に通っていましたが、このままの生活だと3年間で卒業できるかどうかは非常に不安でした。その時の私を救ったのは米山奨学金でした。アルバイトの時間を減らすことができたため、自分の研究に集中でき、自分にとっては悔しさのない業績で卒業できました。

また、自分の所属する函館五稜郭RCに深い感謝を申し上げます。私は人の前でスピーチすることが非常に苦手で、緊張すると頭が真っ白になります。しかし、卓話の時、クラブの皆様が暖かい目で見られて、皆様から笑いも取れて、全く緊張せずに発表ができました。高い山を乗り越えたような気持ちになれました。本当にお世話になりました。さらに、一番感謝したいのは、私のカウンセラーです。いつもそばで見守ってくださって、本当に感謝申し上げます。人の前でスピーチするのが苦手なのを知った後、他クラブでの卓話の際に、いつも同行して下さってありがとうございます。母国に長年帰っていないことを知った後、中華パーティーをやって下さってありがとうございます。いつも学業の心配、体調の心配をしてくださってありがとうございます。感謝の気持ちが一杯で、書ききれないほどあります。

これから新たな人生の一步を踏み出しますが、こうして私を支えて下さった皆様へのご恩と感謝を忘れず、より一層精進して参りたいと思います

カウンセラー / 光錢裕二

北海道大学大学院博士課程の朱妍卉さんにカウンセラーとして関わるようになって、あっという間に2年が経ちました。新型コロナウイルス感染症の流行真ただ中の2年間でしたので、とにかく健康で元気に研究生生活を送ってくれたらと願うだけでした。しかし彼女のコロナウイルスをも吹き飛ばすほどの明るさとバイタリティー、そして完全な日本語が力となって多くの論文を書き上げ、国際学会を含めて多くの学会で発表できたことは、彼女にとって大きな自信になったと思います。そして3月にはめでたく「博士」の学位を取得することができました。本当に嬉しく思いますと同時に安心しました。

ロータリー活動では月一回の例会や夜間例会への出席はもちろんですが、10・11グループ内のクラブでの卓話も、どこのクラブへ伺っても笑顔を絶やすことなくコミュニケーションを上手にとっていました。この点で多くのロータリアンと交流を持つことができたと思います。2年間で学んだロータリーの考え方を活かして今後は「学友」としてロータリーとの絆を保ち続け、この経験を自分の人生に、そして国際社会のために生かしていただきたいと思います。



ダーキスト マルバ クララ

【出身国】スウェーデン

【留学先】北海道大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】新札幌RC

ロータリー米山記念奨学会の奨学生としての一年間は、私にとって非常に貴重で有意義な経験でした。まず、毎月開催される例会で卓話をしたことです。卓話では、自分の出身国や文化、研究内容や将来の夢などについて発表しました。また、ロータリアンの方々からも様々な話題や知識を聞くことができました。卓話を通して、私は自分自身や自分の専門分野について深く考えることができました。また、異なる国や背景を持つ人々とコミュニケーションする能力や理解力も向上しました。

次に、世話クラブから紹介された地域活動で、養護施設への訪問する機会を得たことです。養護園で、子どもたちと一緒に遊んだり話したりしました。みんなが私を温かく迎えてくれて、楽しい時間を過ごすことができました。その時、子供たちの笑顔や元気さに感動しました。また、職員との交流で、日本の社会福祉制度や現場の課題について知ることができました。

最後に、ロータリアンの方々との交流です。彼らは私たち奨学生を応援してくださり、様々なアドバイスや励ましをしてくださりました。特に印象的だったのは、「ロータリー四つのテスト」です。「言葉・行動・思想」が「真実か」「公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」という四つのテストです。これは私にとって人間性や倫理観を高める指針となりました。

このようにして私は米山奨学生として充実した1年間を過ごすことができました。これもすべてロータリー米山記念奨学会や世話クラブの皆様方のご支援のおかげです。世話クラブから多くの学びや刺激を得ることができました。今後も引き続き努力し、母国や日本や世界に貢献できる人材になれるよう頑張ります。



チャイ・ソダヴィ

【出身国】カンボジア

【留学先】酪農学園大学

【奨学金支給期間】2021.4.1- 2023.3.31

【世話クラブ】江別RC

カウンセラー / 金田一夫

1年半にわたり、酪農大学で獣医師を目指す学生さんをお世話する事となり、カウンセラー初心者の身としてはハラハラドキドキのスタートとなりました。オリエンテーション時、はきはきとした受け答えと祖国カンボジアで獣医師を目指す強い意志を感じファンになりました。コロナ禍で活動も停滞気味ながら、進んで参加いただきクラブ全員のアイドルとなりました。家族の話をする中で、ポルポト一派の悪政で過去に身内が多くなる内戦（戦争）の無惨さを聞くにつけ、平和の大切さを痛感しました。彼女の祖国が難しい国際情勢の中にあるようですが、夢をかなえ祖国の平和と希望がかなえられることを願っています。